2026年9月10月号



Piece of Peace

輪になって

今回のトピック

- 体育祭について
- 体育祭競技
- 団長から
- 輪になって



みなさんこんにちは！「Piece of Peace」編集部です。今年の広報誌も今月号を含め、あと２回の連載となりました！広報誌は楽しんでいただけているでしょうか？最後までお付き合い頂ければ幸いです！！

さて今月号は体育祭についてをぎゅっとまとめています。生徒会からの新コーナーもあるのでぜひ最後までお楽しみください！

２２代生徒会広報誌「Piece of Peace」編集部ではたくさんのご意見やご感想、写真やイラストをお持ちしています！

写真、イラスト募集

ご意見・ご感想募集

福山市立福山中学校

体育祭



全員全力体育祭！！

　全員が全力で練習から本番までやりきった応援合戦や競技の数々、エフピコアリーナに全団の応援の声が響いていました！そんな中、見事に優勝を遂げたのは緑団！！中学緑団は見事に応援合戦、総合得点ともに優勝をとげました。中学校の応援合戦は全団が全力でやり遂げ、最高のパフォーマンスを見せました。緑団だけでなく、赤団、青団も日々の練習から声、返事、ダンスに全力で取り組み、縦割り練習では体育館から声が漏れ聞こえるほどの大きな声でした。

　各団同士で高め合い、支え合ってできた体育祭。保護者の方や先生に、自分たちの成長を見せることができました！

　各団が全力で挑んだのは応援合戦だけでなく、たくさんの競技もです！そんな市立ならではの体育祭競技を紹介していきます！

生徒に聞いた！

楽しかった競技ランキング！

1位　応援合戦
2位　クラス対抗リレー
3位　市立ファイナル

4位 友情リレー　5位 つなげ勝利の一球

　中学全学年を対象に、体育祭の感想アンケートを行いました！
　今回は、アンケートで聞いた「楽しかった競技ベスト3」を紹介しました！あなたが選んだ競技は、この中にありましたか？
　来年もみんなで体育祭を盛り上げましょう！！！








体育祭で行われた競技

体育祭で競うのは応援合戦だけではありません！ここからは体育祭で行われた各競技をご紹介します。

イチリツサマーダッシュ

この競技イチリツサマーダッシュは毎年プログラムの一番最初に行われる競技です！最初に行われるのも納得するほどに各団から応援の声が飛び交い、とても盛り上がりました！



友情リレー

友情リレー！この競技はその名の通り、友情が光るリレーです！生徒の間ではムカデ競争とも呼ばれています！この競技は１位が得られるポイント数が高く白熱の戦いとなりました！どのチームも声を掛け合って頑張っていました！



ハイジャンプ

ハイジャンプは、３学年合同で行われます。この競技で大切なのは「声」です。縄を回す人の「せーの！」という掛け声から始まり、みんなで飛んだ回数を数えながら、息を合わせていきます。選手だけでなく、各団の席からも大きな掛け声が聞こえてきました！



勇者の橋

勇者の橋は勇者と橋の生徒たちの気持ちを合わせることが大切です！この競技は練習から作戦を重ね、どの団も団ならではの作戦で挑んでいました！ゴールしたときの全員で喜ぶ姿が印象的でした！



クラス対抗リレー

市立福山中・高等学校のクラス対抗リレーは、各クラスのプライドと名誉をかけてバトンを繋ぐ、体育祭最大の見せ場の一つです！バトン渡しや走る順番なども見どころです。今年も、どの団も会場一体となって白熱した戦いになりました！



いつ引くの？今でしょ

この競技は、団全員が心を一つに綱を引くことができるのかが、勝敗を大きく分けるポイントでした。練習の時、作戦を考える場面があり、声掛けや戦略など各団の個性が光る熱い戦いになりました！



つなげ！勝利の一球

つなげ！勝利の一球は今年新しく取り入れた競技です。

初めて行われた競技でしたが、選手たちの必死のプレーに、観客席からも大きな声援が送られました。ボールがかごに入るたびに大きな歓声が上がり、会場は大いに盛り上がりました！





市立ファイナル

市立ファイナルは、各クラスから男女それぞれ２名が団の代表として出場するリレー競技です。

中学１年生からスタートし、高校３年生がアンカー（最終走者）を務める、中高一貫校ならではの大迫力のリレーです。最後の競技にふさわしく、会場の熱気は最高潮に達しました。



中学校応援合戦～各団長からの言葉～

赤団、青団、緑団に分かれてダンスパフォーマンスやエール交換、応援歌を行った応援合戦。各団を引っ張ってくれた団長たちからメッセージをもらっています。



赤団団長：倉田望来

体育祭お疲れ様でした！

私はこの体育祭を通して、大きく成長することができました。みんなはどうですか？練習で大きな声で挨拶、返事を徹底したり、時間前集合を当たり前にしたりなど、たくさんの良いところがあったと思います。その赤団の強みを、これからの日常生活にも活かしてほしいです！！

また、私はたくさん大切なことに気付かされました。仲間の大切さや、全力で頑張ることの大切さなどを心から実感しました。みんなが支えてくれたから私も最後までやりきることができました。頼りない私を信じて、最後までついてきてくれて本当にありがとうございました。優勝には届かなかったけど、私たちの全力の演技で、見ている人に元気や勇気を届けることができたと思っています！これからも、この団結力を活かしていこう！最高で最強な赤団が大好きです！

青団団長：佐々木貫多

今年の体育祭は、自分にとってかけがえのない思い出になりました。

最初は練習の時間が少なく、団の足並みが揃わないこともありましたが、本番が近づくにつれて声を掛け合い、まとまりが生まれていくのを感じました。特に応援合戦では、一人ひとりが全力を出し切り、仲間と声を枯らして応援した時間は本当に宝物です。結果以上に、この団で一つの目標に向かって一致団結できたことが何より嬉しかったです。一緒に駆け抜けてくれた団員のみんな、本当にありがとう！みんなと作れた最高の思い出とこの絆を、これからの学校生活でも大切にしていきます。



緑団団長：西村瑛太

緑団優勝おめでとう！！この優勝は緑団１人１人が全緑全笑できたからだと思います！応援合戦や体育祭を終えたときのみんなの姿は勝ち負け関係なく最高の「全緑全笑」だったと思います。最初はバラバラで完成度もまだまだでした。だけど練習を重ねていくにつれてみんなの気持ちが全緑全笑の一つにまとまっていきました。この緑団の強さは団結力だと思います。一人一人の力が弱くてもこの団結力があれば何よりも強い武器になると思います。この体育祭でみせつけた緑団の強い団結力を体育祭だけで終わるのではなくこれからもこの力を発揮していきましょう！



新コーナー 輪になって

今月の「輪になって」では、このコーナーを新たに設けようと考えた理由や、図書委員会の活動について紹介します。

「輪になって」について

新たに「輪になって」のコーナーをつくったのには、理由があります。

今までの広報誌では、学校行事という視点から、皆さんの活動について紹介していました。しかし、学校行事だけでなく、委員会活動にも目を向け、皆さんの活動を紹介したいと考え、このコーナーを新たにつくりました。

図書委員会について

図書委員会では希望者を募り、７月３１日に生徒１０人で、初めて「中央図書館書庫ツアー」を行いました。

「中央図書館書庫ツアー」では、中央図書館の職員の方に書庫や館内を案内していただきました。また、図書館の役割や蔵書数などについても教えていただき、図書館に関するさまざまなことを学ぶことができました。



電子図書の使い方の説明を受けている様子→



↑中央図書館の書庫内を見学する様子

書庫を見学した際は、「図書館は古い文献などを保存する」という役割を持つ場所でもあることを教えていただき、実際に新聞をデータとして保存するための機械も見せていただきました。江戸時代の文献や、第二次世界大戦前の中国の新聞など、興味深いものが多く、見学に参加した人たちも、後日のアンケートで「面白かった」「印象に残った」といった感想を書いていました。

また、これらの新聞は、中央図書館にある専用端末で見ることができます。ぜひ、見てみてください。

↓保存されている新聞





最後に、実際にツアーに参加した生徒の感想をいくつか紹介します。「普段は見られないものをたくさん見ることができた。」
「書庫ツアーに行ったことで、普段は小説を少し読む程度だったが、今はいろいろな小説を読むようになった。電子図書にも興味をもち、使ってみたいと思った。」
「また行ってみたい。」

また機会があれば開催したいと思っています。ぜひ、次回は参加してみてください！

体育祭では多くの人がそれぞれの競技に向かって全力で取り組み、応援合戦では団長など応援リーダーが中心になって、とても素晴らしい演技を見せてくれました。また図書委員会の活動では、図書館とはどういった場所なのかを学ぶなど、様々な場所で学びを育んでいました。そこで、知ったこと・培ったことを忘れずに、日々の生活に活かしていきましょう。